

ずいじ きゅう がっかしけんもんだい か こもん
随時2級 学科試験問題 (過去問)

じゅけんばんごう 受検番号	
なまえ 名前	

1. 試験時間 60分

2. 問題数 50題 A群 (真偽法25題) 及びB群 (多肢択一法25題)

3. 注意事項

- (1) 携帯電話、腕時計型端末の使用は禁止します。(電源は切って、バック等にしまって下さい)。
- (2) 机の上に受検票及び筆記用具以外のものを置いてはいけません。
- (3) 電子式卓上計算機、その他これと同等の機能を有するものは、使用してはいけません。
- (4) 試験官の指示があるまで、この表紙を開けてはいけません。
- (5) 試験官の指示に従って試験問題の数を確認して下さい。もし、異常があった場合には、黙って手を挙げて下さい。
- (6) 解答用紙に記入する場合は、必ず鉛筆又はシャープペンシルを使用して下さい。
- (7) 解答用紙には、受検番号と氏名を必ず記入して下さい。
- (8) 試験官の指示に従って、試験を開始して下さい。
- (9) 問題は、A群 (真偽法25題) 及びB群 (多肢択一法25題) の50題です。
 - ① 真偽法は、問題文の内容が正しいか誤っているかを判断し、正しいと思う場合は○ (丸印) を、誤りと思う場合は× (ぼつ印) を解答用紙に記入して下さい。
 - ② 多肢択一法は、問題に対応する選択肢の中で、正解と思う選択肢 (ア、イ、ウ、エ) を一つ選び、解答用紙に記入して下さい。
 - ③ 解答する場合は、A群、B群の解答欄を間違わないように記入して下さい。
- (10) 試験中、質問があるときは、黙って手を挙げて下さい。ただし、漢字の読み方を含めて、試験問題の内容についてはお答えできません。
- (11) 試験開始後30分間は退出できません。30分経過後に解答ができあがった場合は、黙って手を挙げて試験官の指示に従って下さい。退室後は試験が終了するまで再入室はできません。
- (12) 試験中にトイレに行きたい場合は、黙って手を挙げて試験官の指示に従って下さい。
- (13) 試験終了の合図があったら、筆記用具を置き、試験官の指示に従って下さい。
- (14) 試験終了後、試験問題と解答用紙を提出して下さい。試験問題を持ち帰ることはできません。

ぐん しんぎほう
■ A群 (真偽法)

1. 事務所衛生基準規則で定められている室内の作業面の明るさは、普通の作業では150ルクス以上である。
2. セメントテラゾは大理石、花崗岩の碎石を着色セメントで固めたものである。
3. ポリマータイプの床維持剤を床面に塗ると、フィルム状の皮膜が形成される。
4. 高性能真空掃除機は、高い衛生上の管理が必要な、病院、クリーンルームで使用される。
5. カーペットをグリッパーという引っかけ金具に固定させる方法を、直貼り工法という。
6. 便器に付いた黄ばみ、尿石、洗面台の石鹸カス、水あかななどの洗浄には酸性洗剤が使用される。
7. 廃棄物を少なくするための循環型社会形成の取り組みを、3Rという。
8. フラットモップは乾式タイプとして使われるモップである。
9. ほこり以外の汚れ物質の大部分は、疎水性物質である。
10. ポリッシャーは床磨き機ともいい、床の洗浄や床維持剤の塗布及び剥離に使用する機械である。
11. フロアーシーラーは、硬質床の目止め(シール)に使われる。
12. 自動床洗浄機は小回りがきくので、隅や曲がり角まで洗浄できる。
13. カーペットのパイルの間に入ったほこりを除去するのは、ポット型よりアップライト型の真空掃除機の方が適している。
14. バフingパッドクリーニングは、カーペットパイルの内部の汚れを拭き取る洗浄方法である。
15. 酸性洗剤と塩素系漂白剤は、混用してはならない。
16. 床面の汚れ具合に応じて区域を分け、区域ごとの特徴を考慮して清掃方法などを考えることをゾーニングという。

17. つうろ ほこうりょう ほこうひんど おお ばしょ
トラフィック・エリアとは、ロビーや通路など、歩行量・歩行頻度の多い場所のことをいう。
18. しゅうしゅうかいすう おお しゅう かい ふつう
ごみの収集回数はみだりに多くせず、週1～2回を普通とする。
19. ふゆうふん りょう けんちくぶつかんきょうえいせいかん りきじゆん くうき いじょう さだ
浮遊粉じんの量は、建築物環境衛生管理基準により、空気1 m³ に対し0.2mg以上と定められている。
20. ひょうじゆんさぎょうじかん しゅたいさぎょうじかん しょうみじかん よゆうじかん こうせい
標準作業時間は、主体作業時間（正味時間）と余裕時間で構成される。
21. はくりはいえきしより きんし げんそく ふほうとうき ふく
剥離廃液処理の禁止4原則に、不法投棄は含まれない。
22. じぎょうけいはいきぶつ しょうせきになん けんちくぶつしよゆうしや
事業系廃棄物の処理責任は、テナントや建築物所有者にある。
23. ろうどうさいがい はっせい ぶつてきげんいん じんてきげんいん から あ はっせい
労働災害の発生は、物的原因と人的原因が絡み合って発生することはほとんどない。
24. ろうどうさいがい じんしん しょうがい ていど しっぺい きゅうぎょう ふきゆうさいがい わ
労働災害は、人身の傷害の程度によって、疾病、休業、不休災害に分けられる。
25. の めんせき いじょう けんちくぶつ とくていけんちくぶつ
延べ面積が3,000 m²以上の建築物は、すべて「特定建築物」である。

■ B群 (多肢択一法)

1. 床維持剤の乾燥後に、耐久性を最も低下させる組み合わせはどれか。

- ア お湯・アルコール
- イ 氷・水性マーカー
- ウ 高湿度・高温
- エ 低湿度・低温

2. 汚れの原因の組み合わせとして、最も不適切なものはどれか。

- ア 人為的原因・・・衛生害虫による汚れの発生
- イ 自然的原因・・・降雨による汚れの発生
- ウ 人為的原因・・・手アカ・抜け毛による汚れの発生
- エ 自然的原因・・・粉じん・炭素粒子による汚れの発生

3. 日常清掃の作業内容のうち、最も不適切なものはどれか。

- ア 乾式モップによる床のほこり取り
- イ 金属部分のみがき
- ウ 灰皿清掃・紙くず処理
- エ 出入り口マットの除じん

4. 湿式モップの種類の中で、最も不適切なものはどれか。

- ア T字モップ
- イ ワンタッチモップ
- ウ プレスモップ
- エ ダストクロスモップ

5. 真空掃除機の取扱注意事項の中で、最も不適切なものはどれか。

- ア 濡れた手で取り扱わない
- イ 布フィルターは洗濯（水洗い）しない
- ウ 延長ホースや延長コードはできるだけ使用しない
- エ ドライ型の場合は、濡れた床で使用しない

6. 次の計算式の中で、最も適切な希釈倍率の計算式はどれか。

- ア 希釈倍率 = $\frac{\text{水} \div \text{洗剤原液の量} + \text{水の量}}{\text{洗剤原液の量}}$
- イ 希釈倍率 = $\frac{\text{洗剤原液の量} + \text{水の量}}{\text{洗剤原液の量}}$
- ウ 希釈倍率 = $\frac{\text{洗剤原液の量} + \text{水の量}}{\text{水の量}}$
- エ 希釈倍率 = $\frac{\text{洗剤原液の量}}{\text{洗剤原液の量} + \text{水の量}}$

ゆかい じざい ぶんるい もっと ふてきせつ
7. 床維持剤の分類で、最も不適切なものはどれか。

- ア フロアードライ
- イ フロアーオイル
- ウ フロアーシーラー
- エ フロアーポリッシュ

けんちくぶつ ほっせい もっと ふてきせつ
8. 建築物で発生するカビについて、最も不適切なものはどれか。

- ア 清掃不良で残った汚れが栄養源になる
せいそうふりよう のこ よご えいようげん
- イ 環境に悪影響があるので薬品を使用しない
かんきようあくえいきよう やくひん しよう
- ウ 湿度管理が大切である
しつどかんり たいせつ
- エ カビは発色するものがある
はっしょく

い かいてん げんいん てきせつ
9. スイッチを入れても、ポリッシャーのモーターが回転しない原因として、適切なものはどれか。

- ア コードの絶縁不良
ぜつえんふりよう
- イ オイルシールの不良
ふりよう
- ウ プラグの不良
ふりよう
- エ キャスターの不良
ふりよう

ゆか にちじょうせいそう もっと ふてきせつ
10. 床の日常清掃として、最も不適切なものはどれか。

- ア 除塵作業
じょじんさぎよう
- イ 拭き取り作業
ふとさぎよう
- ウ 表面洗浄作業
ひょうめんせんじょうさぎよう
- エ バフ掛け作業
がさぎよう

じどうゆかせんじょうき こうてい ふく つぎ
11. 自動床洗浄機の工程に含まれないものは、次のうちどれか。

- ア 床に洗浄液を塗布する
ゆか せんじょうえき とふ
- イ ブラシで床面を洗浄する
ゆかめん せんじょう
- ウ 汚水を集めて回収する
おすい あつ かいしゅう
- エ ブロアで作業を乾燥する
さぎよう かんそう

ない いちぢちりゅうようき ひつよう じこう もっと ふてきせつ
12. ビル内での一時貯留容器に必要な事項で、最も不適切なものはどれか。

- ア 発生するごみに対して、適当な大きさ、機能的な形状のものを必要数配置する
はっせい たい てきとう おお きのうてき けいじよう ひつようすうはいち
- イ 材質が堅くて強く、洗浄が容易である
ざいしつ かた つよ せんじょう ようい
- ウ 玄関・ロビーに配置する場合、美観や意匠性を考えない
げんかん はいち ばあい びかん いしょうせい かんが
- エ 厨芥入れは臭いが漏れないよう、蓋付きである
ちゅうかい いにお も ふたつ

13. 作業計画と安全作業に最も不適切なものはどれか。
- ア 経費の削減に努める
- イ 安全な作業方法に基づいて作業計画を作成する
- ウ 作業環境の点検および整備を行う
- エ 準備・段取り・確認を十分に行う

14. 床維持剤を塗布する目的として、最も不適切なものはどれか。
- ア 汚れの付着を防ぐ
- イ 歩行性を高める
- ウ 床材を保護する
- エ 美観を高める

15. 床用パッドの粗さを「細かいから粗い」順に並べた組合せで、正しいものはどれか。
- ア 白 → 青 → 茶 → 緑 → 黒
- イ 白 → 青 → 赤 → 緑 → 黒
- ウ 白 → 赤 → 緑 → 青 → 黒
- エ 白 → 赤 → 緑 → 茶 → 黒

16. 洗剤の注意点として、最も不適切なものはどれか。
- ア リン酸塩が添加された洗剤を使用する
- イ 計量カップを使用し、適正な濃度で使用する
- ウ 希釈には40℃程度の温水を使用する
- エ 洗浄後のすすぎとして、水拭きでは清水を使用する

17. ほうきと掃き方の組み合わせの中で、最も不適切なものはどれか。
- ア 自在ぼうき — 押さえ掃き
- イ 座敷ぼうき — はじき掃き
- ウ シダぼうき — さらえ掃き
- エ 竹ぼうき — 押し掃き

18. 循環型社会の促進に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか。
- ア 廃棄物の排出抑制
- イ 廃棄物の再利用
- ウ 廃棄物の混合処理
- エ 廃棄物の再利用

19. ビル内で行われる主なごみの中間処理で、最も不適切なものはどれか。
- ア 分別収集
イ 破碎処理
ウ 燃焼処理
エ 圧縮処理

20. 建築物に異物が付着する原因の中で、最も人為的原因ではないものはどれか。
- ア 手あか・分泌物・排泄物・抜け毛
イ カビや衛生害虫などの発生による汚れ
ウ 飲食物やタバコの灰
エ 衣服などの摩耗粉や繊維くず

21. 日常清掃として、最も不適切なものはどれか。
- ア 一日1回または数回行う出入りロマットの除塵
イ 壁面などの低所部分の除塵
ウ 便所・洗面所などの清掃と消耗品補充
エ カーペットの洗浄

22. 転倒災害防止に関する記述で、最も不適切なものはどれか。
- ア 床面と足の裏の摩擦係数を小さくする
イ すべりにくい作業靴を着用する
ウ 歩行動線を確保する
エ ドライ方式作業技法を実施する

23. 次の中で、ステンレススチールの表面仕上げ法でないものはどれか。
- ア ヘアライン仕上げ
イ 鏡面仕上げ
ウ コーティング仕上げ
エ バイブレーション仕上げ

24. 建築物の場所ごとの汚染レベルの組み合わせで、最も不適切なものはどれか。
- ア 極重汚染エリア - 玄関・ロビー
イ 軽汚染エリア - エレベーター・トイレ
ウ 重汚染エリア - 廊下・下層階の階段
エ 中汚染エリア - 事務所・会議室

25. 給水設備の給水方法について、最も不適切なものはどれか。
- ア 高置水槽方式
イ 増圧直結方式
ウ 圧力水槽方式
エ 減圧直結方式

2025年度 随時2級 ビルクリーニング技能検定

学科試験問題 (過去問)

< 正 解 >

A群 真偽法	
設問	解答
1	正
2	正
3	正
4	正
5	誤
6	正
7	正
8	誤
9	誤
10	誤
11	正
12	誤
13	正
14	誤
15	正
16	正
17	正
18	誤
19	誤
20	正
21	誤
22	正
23	誤
24	誤
25	誤

B群 多肢択一法	
設問	解答
1	ア
2	ア
3	イ
4	エ
5	イ
6	イ
7	ア
8	イ
9	ウ
10	ウ
11	エ
12	ウ
13	ア
14	イ
15	エ
16	ア
17	エ
18	ウ
19	ウ
20	イ
21	エ
22	ア
23	ウ
24	イ
25	エ